

校長挨拶

秋田県立西目高等学校
校長 佐々木 英憲

本校は昭和17年4月、農業教育に対する地域の強い要望によって、農業科、農業土木科から成る県立西目農業学校として開校しました。その後、時代の流れ、社会の要望に応じて校名や学科の変更があったものの、「自分を励まし、継続して努力する」という校訓『自彊不息』の精神のもと、職員・生徒が一丸となってこれまで歴史と伝統を築いて参りました。



本校の最大の特色は、平成8年に新設された総合学科にあります。総合学科では、自分の進路や興味・関心にあった系列を選び、たくさんの科目のなかから自分だけの時間割を作って学習することができます。本校では、3年間で体系的な学習ができるように5つの系列を設けて、各々の系列での学習をとおして個々の潜在的能力を最大限に伸ばさせることを目指しています。

本校は恵まれた教育環境のなかで、学習はもちろんのこと、生徒会活動や部活動も盛んです。全県トップレベルの戦いを繰り広げているサッカー部、野球部、ボクシング部、弓道部などの運動部（10クラブ）と、全国高校総合文化祭に出場している美術部、書道部などの文化部（10クラブ）があり、多くの部活動が輝かしい成績を収めております。

本校が望む生徒像は、基礎学力、基本的生活習慣がしっかりと身につけている生徒で、かつ部活動を一生懸命に頑張る生徒、四年制大学への進学を目指して学業に積極的に取り組む生徒、専門科目を学習して資格取得に積極的に取り組み、地域産業の振興に貢献しようとする生徒です。

豊かな人間性と、専門的知識や技能を身に付けた人間を育成し、地域に信頼される活力に満ちた学校づくりに取り組んで参りたいと考えております。

保護者、同窓会等の学校関係者と地域の皆様には、今後とも力強いご支援をよろしくお願いいたします。

平成30年4月1日

